

[TSIE・鬼崎南マレーシア視察会計報告]

収入
 TSIE視察補助金 ¥300,000
 (うち¥60,000×5)
 支出
 内訳は下記
 合計 ¥117,081
 欄・支出内訳 (1RM= ¥52.6)

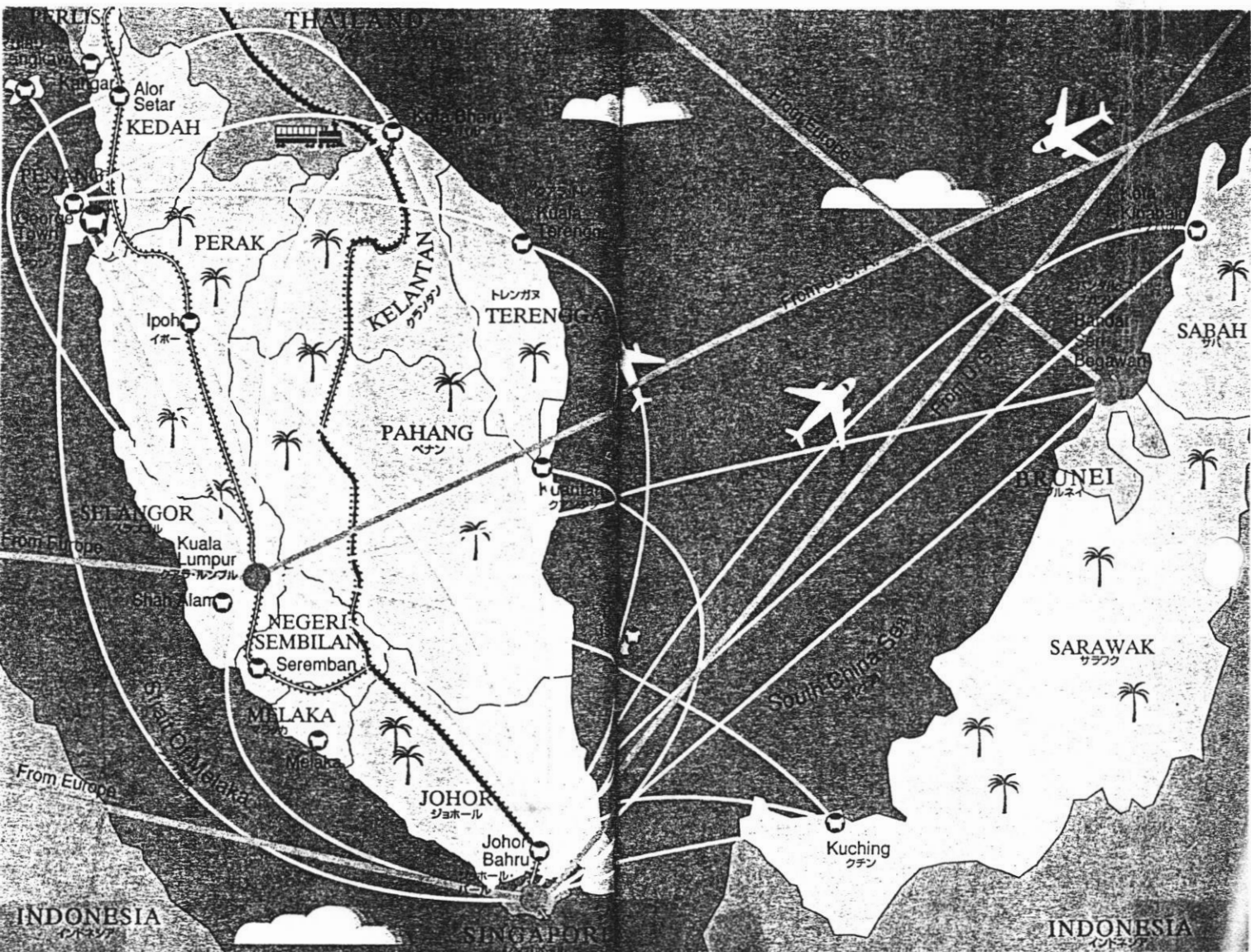
項 目	支出額	備 考
1. 交通費 有料道路料金 駐車料金4日分	2,520 4,000	名古屋空港往復 伊藤さんの車を利用
2. スパン ジャヤ小学校への		日本文化を紹介した本2冊 ジャヤ小学校へ贈呈
3. 2/26 夕食 ミール ディニング	120,00RM 34,800RM	カマルディンとコンフォルドホテルを至まで打合せ カマルディンとコンフォルドホテルの協力者 カマルディンとコンフォルドホテルを至まで打合せ
2/27 朝食 昼食	22.5 RM 82,92RM	モハメッド・アリ(カマルディンの弟)を交えてマレー料理の朝食 伊勢丹の地下レストランにて昼食(鉄板焼)カマルディンとドライバー同行
2/28 朝食 昼食 夕食	73.5 RM 160,00RM 890,00RM	1.1.1ホテル内レストランにてカマルディンとエイブアンと一緒に食事 1.1.1のレストランにて昼食(マレー料理・中華料理) カマルディン・エイブアン・ドライバー同行 421aのタワーからクアラ・ランブルの見学 滞在中にお世話になった人々と民族舞踊を鑑賞しながらディナー(マレー料理)
4. 視察中の車使用及び運転手へのお礼	200RM	毎日夜おしゃくまで付き合ってもらったドライバーに感謝して帰国
ガソリン代・駐車料金等	9,480	
合 計	117,081	

TSIE・鬼崎南小学校
マレーシア視察 報告書
 [視察日程 : 1997.02.26~03.01]

(備考)
 TSIE 鬼崎南小学校 マレーシア視察団
 支出合計 ¥117,081

総額現金 ¥182,909
 但し 日本円で ¥178,996
 マレーシアで82RM=¥4,313
 (1RM= ¥52.6で換算)

アクセス



空路で。日本からシンガポールへ：直行便が、シンガポール航空(SQ)、日本航空(JAL)、全日空(ANA)、ユナイテッド航空(UA)、ノースウエスト航空(NW)、ピーマン・パン

グラデシュ航空(BG)の6社から出ている。このほか、経由便になるが、キャセイパシフィック航空(CX)、マレーシア航空(MAS)、中華航空(CD)、タイ国際航空(TG)、フィリピン航空(PR)の

各社のフライトを利用できる。運賃は8万円~24万円(往復)ときまざま航空各社による価格のほか、旅行会社による格安航空券が出回っており、季節によってかなり変動があるので注

意が必要だ。到着するのは、チャンギ空港。ここにはエアコン付きのタクシーがたくさんいる。シティまでの料金は、約15S\$。所要約20分。エアコン付きのバス(390番)は少し時間はよければかかるが、1.50S\$。

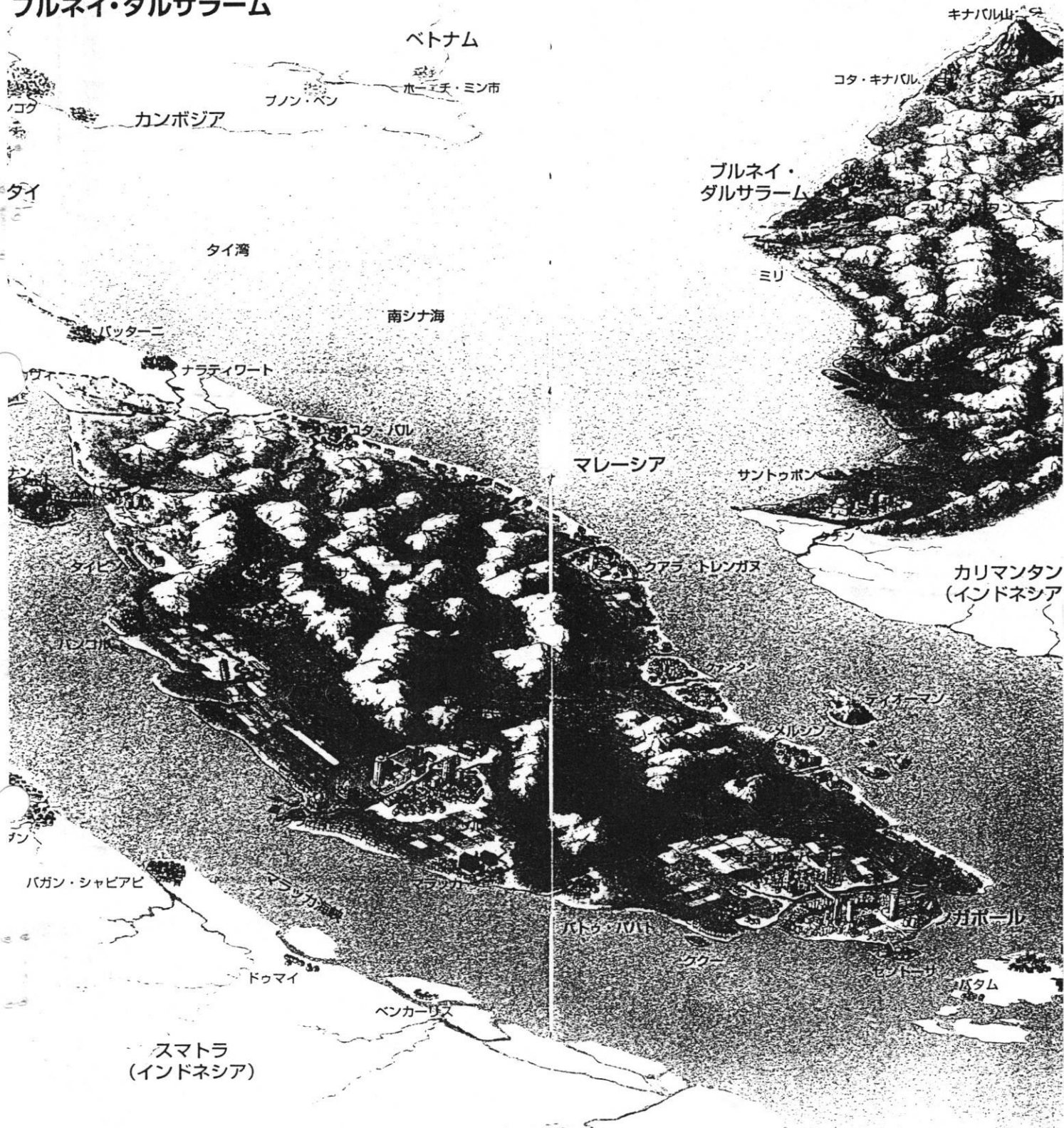
日本からクアラ・ Lumpurへ：直行便があるのは、マレーシア航空(MAS)と日本航空(JAL)、全日空(ANA、関西国際空港発のみ)の3社。運賃はシンガポールの場合と同様。スパン航空

はクアラ・Lumpur市内から約20kmのところにある。タクシー料金は市内まで28RM。(空港出口のカウンターでクーポンを買う)エアポート・バスで市内まで行けば安上がり。MASでは、クアラ・Lumpur

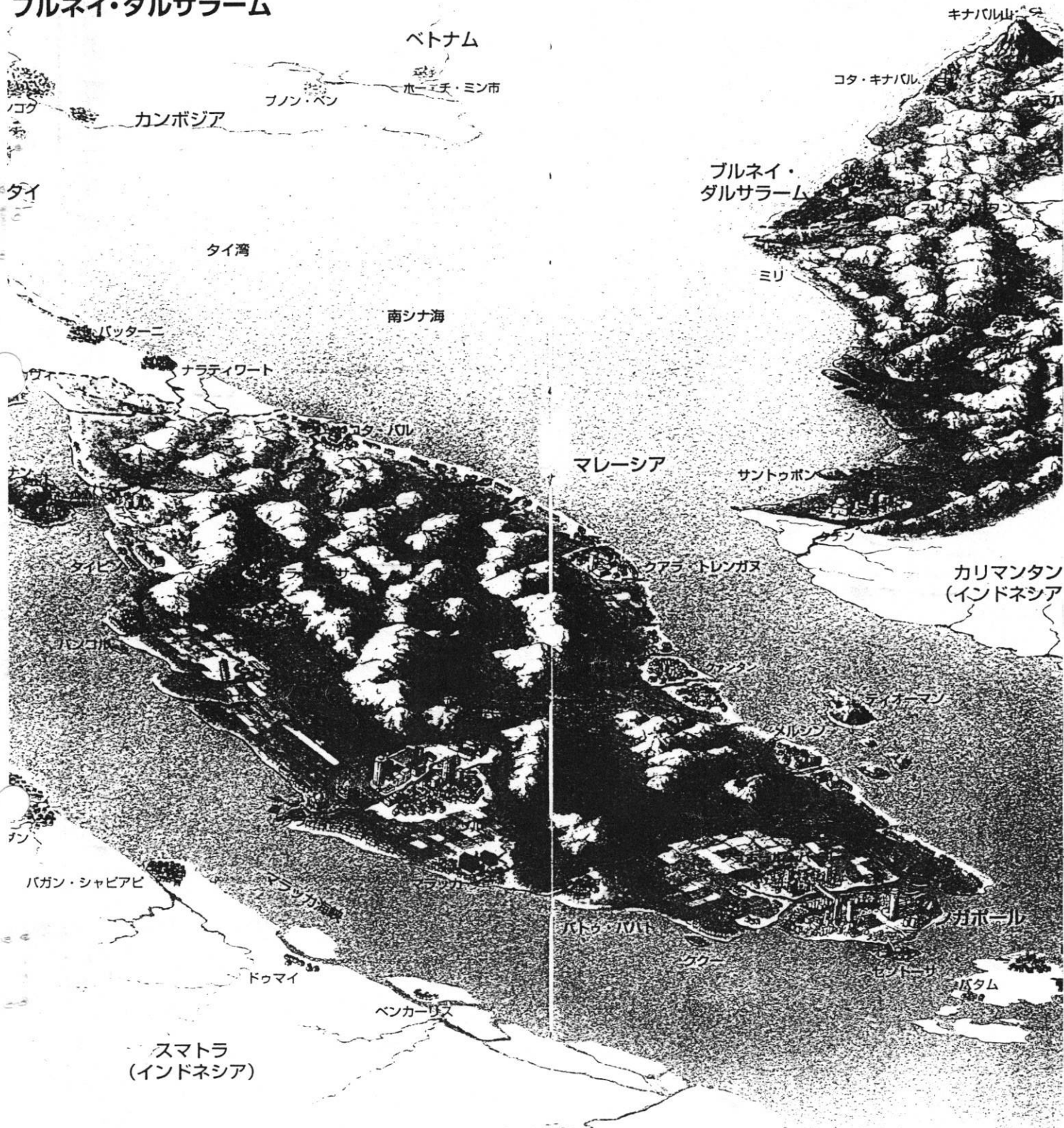
ブルをベースとし、マレーシア国内36か所をネットワークに数多くの便を就航させている。クアラ・Lumpurからペナンへは約40分。東京からも週に2便、ペナンへの直行便がMASから出て

いる。またバンダ・スリ・ブガワンへは、クアラ・Lumpurから(856RM-1,216RM)と、シンガポールから(754S\$-1,205S\$)の便が頻りに運航されている。市内までは空港からタクシーで20分。

シンガポール、マレーシア& ブルネイ・ダルサラーム



シンガポール、マレーシア& ブルネイ・ダルサラーム



1. 学校概要

- 視察小学校 マレーシア SEKOLAH RENDA KEBANGSAAN SUBANG JAYA
セウ ルンダ カンサン スバン ジャヤ
(以降 スバン ジャヤ小学校)
- 教育の目標 読む・書く・算術
- 学校の規模 児童数 1,600名(午前 800名・午後 800名の2部制)
教員数 63名(午前・午後の2部制)
休日等 週休2日(土・日)
期末休暇 11月22日～1月4日
1週間の休暇が年2回
- 授業2部制 施設に比べて児童数が多い為、2部制で授業
午前の部 7:30～13:30 ブレイクタイム 10:15～10:35
午後の部 13:30～18:30 ブレイクタイム 15:00～15:20
- 普通 教科 国語(マレー語)、英語、数学、理科、社会、歴史、地理
宗教(ムスリムのみ)、音楽・美術(1～3年)
技術(4～6年)
特別 教科 マナー(道徳)、躰、パソコン(土曜日希望者)
クラブ活動(4～6年・土曜日のみ)
- 学区 約半径2km以内 スクールバスor自家用車で通学
- 人種の割合 マレー系50%・中国系40%・インド系10%
- 下校後の生活
多くの割合の児童が塾通い(授業で出来ない科目の勉強)
- 児童 制服 女子…白ブラウス、紺スカート・男子…白シャツ、紺ズボン・ムスリムの児童は民族衣装・派遣児童は制服を借りる
- フリクタイム 2部制の為、給食の代わりとしてブレイクタイム
食堂にて軽食(お菓子)を販売
メニュー……ういろ(黒砂糖)・魚フライ・餅(コナツ)
カレーパイ・ドーナツ・ポテト・ケーキ等2
個1RM(リンギット) 1RMは約50円
- 施設建築物 クラスルーム・コンピュータールーム・技術室・理科室・図書室(図書室担当
児童)・視聴覚室・音楽室・体育館・芝グラウンド・職員室

〔スバン ジャヤ小学校の受入れ準備〕

Mr A. P. NATHAN 校長先生・Mrs ME K. N. 教頭先生

K. AIZIAN (KAMARUDDINの妹)が実行委員会(受入れ)発足のため、これから活動。連絡窓口はK. AIZIAN (TEL 03-2731614 FAX 03-2734526)

2. マレーシアの気候

高温多湿の熱帯気候に属する為、蒸し暑く我々の滞在中も日中は摂氏30°を越える蒸し暑い気温であったが、室内（エアコンの無い）では、蒸し暑さを感じない。これは、住宅の換気がよいためだと思われる。ジャロジー窓やアンジュン（屋根のあるポーチ）そしてピントゥ・パガル（玄関の二重戸、内側は格子戸で通気があるので外側戸を開放すればプライバシーと通気が期待出来る）の変形扉が高温多湿を調整している。

時期が少しずれてモンスーンの体験は出来なかったが、突然降り出す雨（シャワーのような）に遭遇し建物内や5フィート通路とよばれる庇付の歩道で濡れた衣服を自然に乾かすのは、慣れない我々にとって風邪をひく原因となる。

3. マレーシアの住まい

スバンジャヤ小学校のあるシラム、スバンジャヤは、クアラルンプルから車で約45分位の距離に位置し、ニュータウン的な発展をしている大変美しい街である。この地域の住宅の多くはテラスハウスと呼ばれる集合住宅であり、これは、プラナカンと呼ばれる英領海峡植民地で生まれ育った華人の住まいとロングハウスと呼ばれるボルネオ・イバン族の住まいが、混じり合って現在のテラスハウス（集合住宅）に変化してきたと思われる。日本のテラスハウスと大差はない。以下は視察体験したマレー家族の住まいの説明です。

- 玄関ポーチ 1階 アンジュンと呼ばれる屋根のあるポーチで暑さを和らげる効果がある。ここで靴を脱いで（日本同様）部屋に入る
 - 玄関扉 1階 ピントゥ・パガルと呼ばれる二重扉で内側は通気用の格子戸
 - 居間・応接室 1階 日本のような玄関・廊下はない。玄関扉を開けると居間・応接室へ入る。床仕上げは大理石（ビアンコ）かタイル貼。
 - 台所 1階 居間からドアなし（換気の為）で台所に続く。視線を考慮して居間からは見えない計画がなされている
 - 食堂 1階 台所に接して配置
 - 便所 1階 便器が床に埋め込まれていて用便したらホースの水を使って便器に流し込む。但し、日本の洋便器スタイルのものは2階に設置してあるので安心
 - 寝室 2階 プライベート室は全て2階に配置
 - 子供室 2階 風呂・シャワー・トイレ付
- ※ 木材が豊富なため、床仕上げ等随所に木材を使用

4. マレーシアの食べ物

多民族国家であるマレーシアでは、マレー料理・インド料理・中華料理・タイ料理等多くの料理を気軽に食べることができる。マレー料理の中で、日本人に好まれると思われるものを以下に紹介する。

- ナシゴレン 日本で言うチャーハン。大変美味しい。
- ミーゴレン 日本で言う焼きそば。大変美味しい。
- サテー 日本で言う焼き鳥。日本のものより少し甘いが大変美味しい。
- ナシカンダ 日本で言うカレー。大変からいので子供は注意。
- デザート アイス・カカン（富士雪）山盛りの氷の中に、海藻ゼリー、スイートコーン、小豆等が入っている。日本で言うかき氷
- フルーツ マンゴー、すいか、パパイヤ、スターフルーツ、グァバ、ジャックフルーツ等。大変美味しい。
- ジュース フルーツが豊富な為、100%果汁で大変美味しい。
- ※ カレー料理は一般に辛いココナッツミルクの入っている色の薄いものは、子供たちでも食べられると思う。
牛乳は、日本のものと比べても変わらないが少しミルク臭さがある。
ムスリム（イスラム教徒）は豚肉を食べないので、日本のようなベーコンが無い為、朝ベーコンエッグを食す人は我慢する。
コーヒーはコンデンスミルクと砂糖が入っていて甘い。
コピ ミルク、砂糖入りコーヒー
コピオ 砂糖入りコーヒー
コピコソン ... ブラックコーヒー
- ムスリムは酒を飲まないでホテルか観光客の行くレストランしか酒類はおいていないので注意（引率の先生）。公共施設は全て禁煙。
- ロージャー ジャガイモ、卵、豆腐、海老、イカ等に入ったスープのようなもの。癖になると美味しい。
- 飲料水 今回の視察ではレストランの水を飲んだが問題はなかった。
- ※ 蟻に注意 甘い食べ物は床にこぼしたり置かない。
甘い豆乳のパックが打合せ時にジュースのパックと一緒にでる。

〔マレーシアの家庭料理〕

我々をディナーに招待してくれたMハッド アリさんの家庭料理は辛味もなく、大変美味しく戴きました。これなら、子供たちも抵抗なく食べられると思う。日本人に配慮して戴き辛味を抑えて戴いた結果だと思うが、派遣児童も美味しく食べるに違いない。

5. マレーシア工科大学 サイ・シャハルディン教授を囲んで

ISSSEとTSIEを理解してもらう為、柴山さんが最初に説明する。説明後、主旨を理解して戴きサイ・シャハルディン教授から次の提案があった。

〔サイ・シャハルディンの提案〕

派遣中（鬼南小）の児童にアートを使って交流するプログラム（アートを使った遊び）を組んだらどうか。

鬼南小の児童とスティ先の小学校（スバン・ジャヤ小）の児童に、マレーシア工科大学のアートの先生を目指して勉強している学生と一緒にアートを使った遊び（授業）をする。スティ中の土曜日を使って行う。もし、言葉が通じないのなら日本語を話せる人を手配することも可能である。しかし、最初からそれには頼らない方が良い。毎週土曜日に実施するかどうかは、今後調整して決める。

I. T. M（マレーシア工科大学）の協力に感謝して懇談を終える。

6. その他

今回の我々のマレーシア視察に関してMr Kamaruddin Kamsahの一家、そして親戚の方々に大変お世話になりました。マレーの人々の家族をあげての歓迎に頭が下がります。日本人では、真似の出来ない親切をマレーシアで体験させて戴きました。カマルディン、エイジアン、アリどうも4日間ありがとうございました。

※ 追記

小学生の間で人気のあるスポーツはフットボール（日本で言うサッカー）心配していた虫刺されは、福田が、街で虫に刺されたただけであった。虫も近づけない皆さんの肌の強さが羨ましい。でも派遣児童は蚊とり線香を持参させた方がよい。

スバン・ジャヤ小には日本の小学校と同様ウサギの飼育小屋や花壇（ハイビスカス、ブーゲンビレア、パパイヤ、やしの木、トウモロコシ等の栽培）があり、児童が世話をしていると思われる。

体育館には、日本同様ステージがあり、ここでカルチャーショーを行うと思う。スピーカーは日本よりいいものが数箇所設置してあった。

〔T S I Eマレーシア視察スケジュール〕

■ スケジュールリスト (時差: 日本より1時間遅れ)

月日・曜日	時刻	内 容
2月26日(水)	19:30	<input type="checkbox"/> MH57便予定より1時間遅れて スパン クアラ・ンプル 国際空港 タミナカ1 に到着
	20:30	<input type="checkbox"/> シェラム 市内のレストラン (タイ料理) にて夕食 カマルディン同行
	22:00	<input type="checkbox"/> シェラム コンコルドホテルに到着
	22:30	<input type="checkbox"/> ホテル1F レストラン にてA. エイジアン (カマルディンの妹) ・アリと明日からの日程を打ち合わせる
2月27日(木)	7:30	<input type="checkbox"/> コンコルドホテル1Fロビー 集合出発
	8:15	<input type="checkbox"/> モハメッド アリ氏のアトリエ訪問 アリ氏はインテリアデザイナー
	8:30	<input type="checkbox"/> アトリエ近所のレストランで朝食 (マレー料理)
	9:15	<input type="checkbox"/> スパン・ジャヤ小学校に到着 A. P. Nathan校長 (インド系) Me K. N 教頭 (中国系) と打合せる 1. 派遣の日程 8月2日 (土) ~24日 (日) 2. 派遣児童数 6名~8名 (6名が適当) 引率者 2名 2部制の午前の部に参加 7:30~13:30 フリク タイム 10:15~10:35 5年生のクラスに参加
	13:30	<input type="checkbox"/> 柴山さん平野さんをコンコルドホテルまで送る
	14:50	<input type="checkbox"/> クアラ・ンプル ロイヤル・スラングの工場見学とショッピング ロイヤル・スラングは世界を代表するピューター (錫製品のメーカー)
	15:30	<input type="checkbox"/> クアラ・ンプル市内で買物その後はジャラン・ジャラン
	17:30	<input type="checkbox"/> ISETAN地下レストラン (鉄板焼き) にて遅い昼食 ビーフ、ココナッツ、野菜炒め
	18:45	<input type="checkbox"/> シェラム コンコルドホテル着
	20:00	<input type="checkbox"/> コンコルドホテルロビー集合
	20:30	<input type="checkbox"/> モハメッド アリ邸にてディナー 我々に配慮 (辛い物なし) したメニュー 大変美味しいディナーでした。

月日・曜日	時刻	内 容
2月27日(木) の続き	21:30	<input type="checkbox"/> カマルディンのおばさん宅訪問 ケーキと紅茶で懇談 大変美味しいデザートとなりました。又、応接室のインテリアの素晴らしさに我々感動の連続。
	23:30	<input type="checkbox"/> シャラム コンコルドホテルに到着
	01:00	<input type="checkbox"/> ホテルにて同室の伊藤さんとミーティング ※ 忙しい一日が終わりました御苦労様です。
2月28日(金)	8:00	<input type="checkbox"/> コンコルドホテル1Fキャッシャー チェックアウト
	8:15	<input type="checkbox"/> コンコルドホテル1Fロビー 集合出発
	8:30	<input type="checkbox"/> I.T.M 大学到着 カマリアン教授 (LANDSCAPE ARCHITECTURE専攻)の案内で建築学科教室を見学 カマリアンはカマルディンのお姉さん
	9:30	<input type="checkbox"/> I.T.M ホテルで朝食 (バイキングスタイル) アメリカンスタイルの中にマレー料理も混じる
	10:15	<input type="checkbox"/> I.T.M 大学陶芸デザイン科にてミーティング I.T.M 陶芸デザイン科からIWCAT で多くの先生が常滑に焼き物ホームステイの体験を持つ サイ・シャハルディン (S. Shahardin 教授…日本で言う学部長か?) 氏と打合せ。内容は別紙参照
	11:15	<input type="checkbox"/> I.T.M 陶芸デザイン科のアトリエ訪問見学 <input type="checkbox"/> カマルディンの家に荷物をあずける
	12:30	<input type="checkbox"/> マスジット・スルタン・サラディン(スランガウ 州立モスク)を見学 2万人収容 ミナレット4本 コンピューター解析のドーム
	14:00	<input type="checkbox"/> クアラ・ランガウへ
	14:15	<input type="checkbox"/> クアラ・ランガウ市内でランチ (中華料理)
	15:20	<input type="checkbox"/> クアラ・ランガウタワーの見学 世界第4位の高さを誇る 421M
	16:30	<input type="checkbox"/> セントラル マーケットにてショッピング
	19:00	<input type="checkbox"/> カマルディン宅にて帰り支度 帰りの便が深夜の為ホテルのチェックアウトを朝行い荷物はカマルディン宅にあずけてあった。

月日・曜日	時刻	内 容
2月28日(金) の続き	21:00	<input type="checkbox"/> 再びクアラ・ Lumpur へ向かう(所要時間50分) SERTI MERAYU(スリ・マユ・レストラン)にて民族舞踊をみながらディナー ガイドブックに掲載される有名店なので少し値段は高いが店のインテリアも伝統的な装飾がなされていて満足しました。 最後のディナーと言うことで今回お世話になったカマルディンの家族、親戚の人達とのお別れ晩餐会となり、閉店時間まで話がはずみました。
	23:30	<input type="checkbox"/> スリ クアラ・ Lumpur 国際空港 ターミナル へ
3月1日(土)	13:30	<input type="checkbox"/> MH56便 クアラ・ Lumpur 出発
	8:40	<input type="checkbox"/> 名古屋空港着(定刻) 25°の温度差で福田は次の日から風邪

視察を終えて

マレーシアと言うこれまで訪問した事のない国で、カマルディンを初めとする暖かいマレー人の家族と知り合えたことに先ず感謝します。

この国の歴史、文化、習慣、宗教、社会等勉強不足のままの視察でしたが、人々の我々に対するもてなしや思いやりに頭が下がります。

このような美しい心を持った人々がいる国に児童を派遣することに何の支障もありません。食事(辛い物)に対する彼らの配慮や習慣や宗教の違いによる生活様式の違いに対する思いやりは身に余る待遇でした。

こんな美しい国で3週間におよぶ国際交流体験ができる児童は大変幸せであり彼らの今後の人生にかけがえのない財産となるでしょう。派遣児童の第2の故郷に思いを馳せて.....。

視察団名簿

TSIE 福田 泰造・柴山 裕子・平野由起子
 鬼崎南小 伊藤 和則・井上多恵子

(T S I E ・ 鬼南小マレーシア視察会計報告)

□ 収入

T S I E 視察補助金 ¥300,000
(ひとり¥60,000×5)

□ 支出

内訳は下記

合計 ¥117,091

■ 支出内訳 (1RM= ¥52.6)

項 目	支出額	摘 要
1. 交通費 有料道路料金 駐車料金4日分	2,520 4,000	名古屋空港往復 伊藤さんの車を利用
2. スパン ジャヤ小学校へのお土産	14,780	日本文化等紹介した本2冊 スパン ジャヤ小へ贈呈
3. 2/26 夕食 120.00RM ミーティング 94.88RM	6,312 4,990	空港出迎いのカマルディンと交えて会食(タイ料理) 視察の協力者(カマルディンと家族、親戚)とコンコルドホテル喫茶室で打合せ
2/27 朝食 22.5 RM 昼食 82.62RM	1,183 4,346	モハメッド・アリ(カマルディンの弟)と交えてマレー料理の朝食 伊勢丹の地下レストランにて遅い昼食(鉄板焼)カマルディンとドライバー同行
2/28 朝食 73.5 RM 昼食 169.10RM K.L タワー見学 48RM 夕食 830.30RM	3,866 8,895 2,525 43,674	I.T.M ホテル内レストランにてカマルディンとエイジアンと一緒に食事 K.L のレストランにて昼食(マレー料理・中華料理) カマルディン・エイジアン・ドライバー同行 421mのタワーからクアラ・ランブルの見学 滞在中にお世話になった人々と民族舞踊を鑑賞しながらディナー(マレー料理)
4. 視察中の車使用及び運転手へのお礼 200RM	10,520	毎日夜おそくまで付き合ってもらったドライバーに感謝して帰国
ガソリン代・駐車料金等	9,480	
合 計	117,091	
〔備考〕		
■ T S I E 補助金	¥300,000	
■ 支出合計	¥117,091	
差額残金	¥182,909	
	但し 日本円で ¥178,596	
	マレーシア \$ で 82RM = ¥4,313	
	(1RM = ¥52.6 で換算)	